

平成27年度 上下水道部 方針書

上下水道部長 渡部 幸伸

1. 部の使命（役割）

健全な水環境系を構築するため、おいしい水の安定供給と潤いのある河川環境の保全

2. 平成27年度における課題（前年度の振り返りから）

- ・地方公営企業会計制度見直しに基づいた決算書類の作成
- ・新たな水道事業ビジョン及び下水道事業ビジョンの完成と整備計画の見直し

3. 平成27年度の『スローガン』

公営企業の将来を見据えた健全な経営基盤の構築

4. 年度目標となる方針（目標）

- ・上下水道事業の経営健全化と安定した事業の運営
- ・水道事業ビジョンの策定及び安全で良質な水道水の安定供給
- ・生活排水処理施設の長寿命化およびライフサイクルコスト最小化の整備

5. 重点取組項目

(1)	項目	水道事業及び下水道事業の経営戦略の策定
	取組内容	・社会情勢を反映した料金収入をもとにした経営計画及び実施可能な事業計画の策定 ・料金改定の必要性、料金積算期間の検討と今後の料金改定の見直し
(2)	項目	水道施設の計画的な整備及びシステムのレベルアップ
	取組内容	・横手市水道事業の将来を見据え策定する水道事業ビジョンと整備計画の整合 ・老朽化施設の計画的な更新及び耐震化の推進 ・水安全計画に則った施設管理
(3)	項目	生活排水処理施設の長寿命化に向けた取り組みと効率的な整備計画の策定
	取組内容	・人口減少化における各事業の経済性や効率性を考慮した生活排水処理整備構想の見直し ・老朽化した公共下水道施設および農業集落排水施設の長寿命化対策の実施と計画

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況 【現状】

- (1) 水道事業及び下水道事業の経営戦略策定への取組みは、部内・課内での協議を経て、投資計画を基にした経営計画を作成。料金積算期間を4年としたうえで、料金改定の有無による数パターンの経営計画をシミュレーションし、判断材料を整えた。
- (2) 水道事業ビジョン策定への取組みは、「強靱」「安全」「持続」に関する課題の分析とそれを克服するための具体的な施策と目標設定の素案を作成した。また、より良質な水道水の安全供給を図るため、浄水用薬品の見直しや保存方法の改良などを行った。
- (3) 生活排水処理構想については、策定方針について説明及び承認を受けて具体的な整備区域を絞り込む作業中である。長寿命化対策については公共下水道の一部について老朽管渠の管更生を実施中である。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針 【ギャップと対策】

- (1) 作成した数パターンの経営計画を判断材料として、その方向性を確定させるとともに、今後の経営における施策の方向性や取組内容を整理し、経営戦略として完成させる。
- (2) ビジョンについては、関係機関と協議し、各種計画との整合性を図りながら年度内に策定する。また、適正な施設管理・水質管理の徹底により、安全で良質な水道水の供給を実施する。
- (3) 生活排水処理構想については集落排水施設の統廃合の検討を行い年度内策定を目指す。長寿命化対策については生活排水処理構想に則した長寿命化対策を計画する。

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題 【結果と成果】

- (1) 上下水道事業4会計の経営戦略(H28～H37年度)を策定した。次年度以降は、戦略に掲げた取り組みを着実に進める。また、投資計画の変更や毎年度の決算状況を踏まえ、計画の検証を行う。
- (2) 将来にわたって安心して安全な水道水を持続的に供給することを実現するため、将来像を「未来につなぐ横手の水道」とする水道ビジョン(H28～H37年度)を策定した。ビジョンのもと、老朽化施設の更新・耐震化を計画的に推進する。また、安全安心な良質な水道水を提供するための各種施策を展開する。
- (3) 公共下水道の10年概成を目指す生活排水処理構想(中期計画)を策定した。今後は、未整備地域の事業推進と長寿命化対策を計画的に実施する。また、集落排水処理施設の統廃合等を検討する。